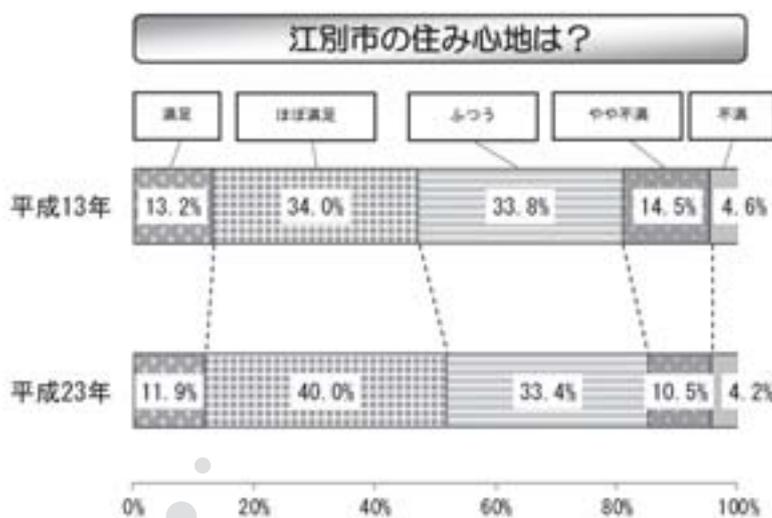


将来も江別に住みたい 87.5%

平成26年度からスタートする「新しい総合計画」の策定と「江別市都市計画マスタープラン」の見直しを進めるにあたり、多くの市民の皆さんの意見を反映するため、市の現状に対する満足度や、将来のまちづくりに対する考え方などに関するアンケート調査を実施しました。

調査結果は、「新しい総合計画」と「江別市都市計画マスタープラン」における江別の将来の都市像を検討していく中で役立てられます。

詳細 政策調整課総合計画担当
☎381-1295



まちづくり市民アンケート調査について

調査は、平成23年9月1日現在、江別市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の方から無作為に抽出した5,000人を対象にアンケートを郵送し、10月1日から11月1日までの期間で実施しました。

回収数は、1,825件（回収率36.5%）でした。

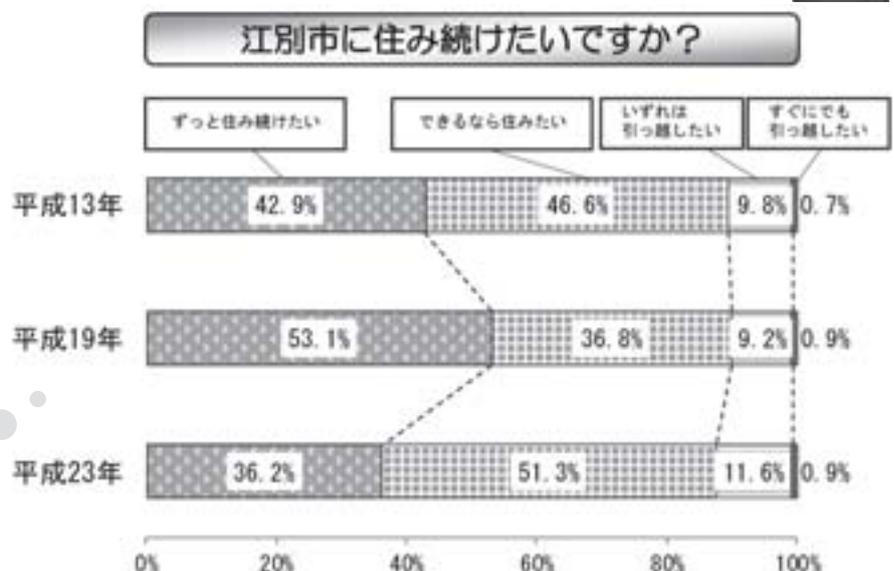


江別市の住み心地については、「満足」「ほぼ満足」「ふつう」と回答した方の合計が85.3%でした。

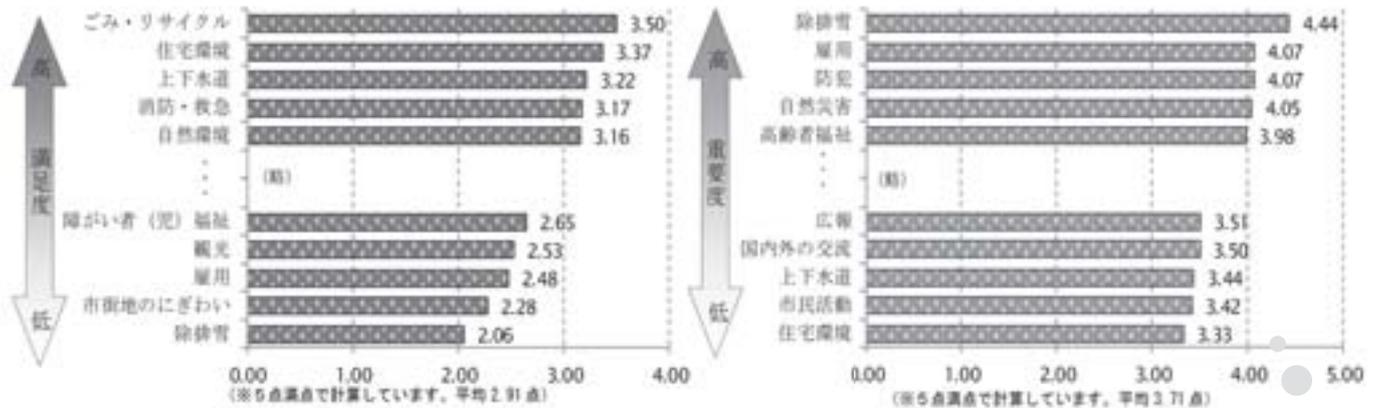
これは、平成13年の調査結果と比較すると、4.3%増加しており、住み心地はやや向上しているといえます。

江別に「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」と回答した方の合計が87.5%でした。

これは、平成13年、平成19年の調査結果と比べるとほぼ横ばいで推移しています。

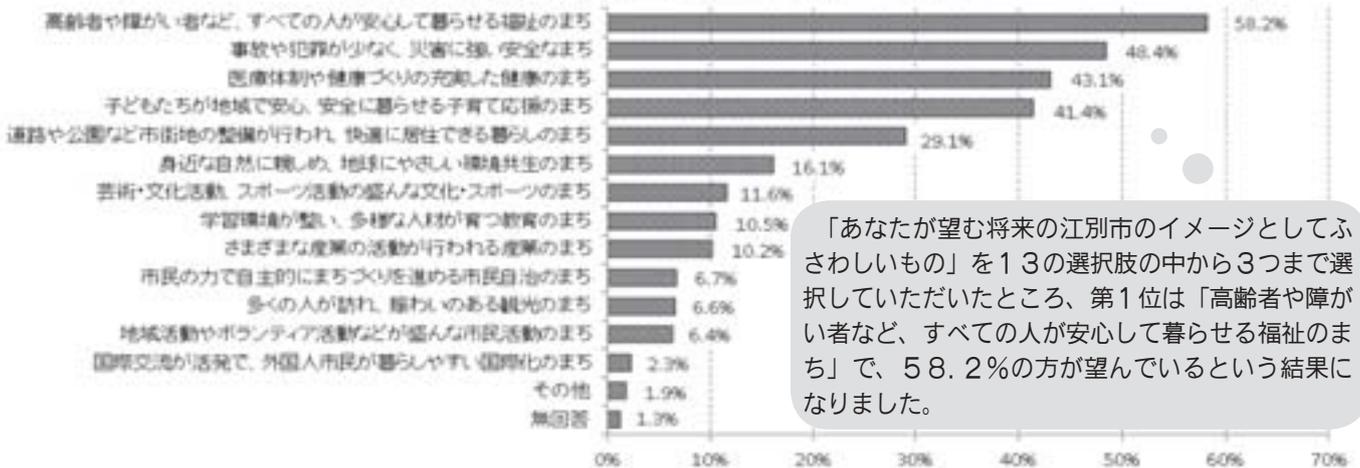


現在の生活環境や行政サービスの満足度と今後力を入れていく重要度



現在の満足度の高い施策は、「ごみ収集処理やリサイクルへの取り組み」が第1位となっています。また、今後力を入れていく重要度の高い施策は、「道路や歩道の除雪状況」が第1位となっています。

あなたが望む将来の江別市のイメージは？



「あなたが望む将来の江別市のイメージとしてふさわしいもの」を13の選択肢の中から3つまで選択していただいたところ、第1位は「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち」で、58.2%の方が望んでいるという結果になりました。

えべつの未来を考える 「えべつ未来市民会議」を開催中

平成26年度からスタートする「新しい総合計画」の策定にあたって、市民の皆さんの意見を計画に反映していく「えべつ未来市民会議」を開催しています。

委員には、「まちづくり市民アンケート調査」に回答していただいた方の中で、市民会議へ参加を希望された56名から、年齢構成・性別等のバランスに配慮するため公開抽選を行い、40名の市民が決定しました。決定後、3名の方が辞退されたため、最終的に37名の市民の方と有識者6名の合計43名の委員で市民会議を運営しています。

2月1日に第1回の会議を開催しました。今後は、月に1回程度の会議を9月頃まで開催し、新しい総合計画の骨組みを検討していきます。

開催内容は、市ホームページ (http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/kikaku/11/shimin_kaigi/1/1.html) でご覧いただけます。

アンケート調査結果の詳細については、市ホームページ (http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/kikaku/11/sinsoukei_enquete.html) でご覧いただけるほか、市役所本庁舎1階の情報公開コーナーや市役所大麻出張所などの公共施設でも冊子を配布しています。

今回誌面で紹介しきれなかった内容も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

